

新聞オーディエンス調査

# 365

新聞オーディエンス調査365は、新聞、テレビ、インターネットの3つのメディアに普段と比べてよく接したかどうかを毎日尋ね、どのタイミングで接触が高まったかを2年間調べました。調査結果から見えてきた傾向を、トピック別に紹介します。

## 調査概要

- 地域 = 全国
- 対象 = 18歳から69歳までの月1回以上新聞を読んでいる男女300人
- 期間 = 2017年10月1日から19年9月30日まで
- 調査内容 = 新聞、テレビ（いずれもインターネット経由で見聞きした場合も含む）、インターネットについて、普段と比べてどの程度接したかを7段階で毎日尋ねた。
- 調査手法 = インターネット
- 調査主体 = 日本新聞協会広告委員会
- 実査 = 株式会社日本リサーチセンター

# 男女で異なる興味を持つニュース



| 男性  | 順位       | 女性  |
|---|----------|---|
| <p>新天皇陛下即位。元号が平成から令和へ。</p> <p><b>110.2</b><br/>2019/5/1</p>                     | <b>1</b> | <p>新天皇陛下即位。元号が平成から令和へ。</p> <p><b>109.7</b><br/>2019/5/1</p>     |
| <p>前の天皇陛下が退位。平成最後の日。</p> <p><b>108.0</b><br/>2019/4/30</p>                      | <b>2</b> | <p>新元号発表の翌日。</p> <p><b>109.4</b><br/>2019/4/2</p>               |
| <p>フィギュアスケート紀平梨花、<br/>GPデビューシーズンでファイナル制覇。</p> <p><b>107.7</b><br/>2018/12/9</p> | <b>3</b> | <p>川崎市で発生した通り魔による殺傷事件の翌日。</p> <p><b>105.4</b><br/>2019/5/29</p> |
| <p>ラグビーW杯、日本 対 アイルランド戦の翌日。</p> <p><b>107.5</b><br/>2019/9/29</p>                | <b>4</b> | <p>新元号発表。</p> <p><b>104.7</b><br/>2019/4/1</p>                  |
| <p>元旦。</p> <p><b>107.1</b><br/>2019/1/1</p>                                     | <b>5</b> | <p>台風24号被害、前日に沖縄県知事選挙投開票。</p> <p><b>104.1</b><br/>2018/10/1</p> |

## 傾向

- 男性の方が女性に比べ、新聞への接触が高まった日が多いとの結果になりました。
- 男女では、興味を持つニュースの対象が異なっています。  
男性は、ラグビーなど大きなスポーツニュースがあった日に新聞への接触が高まりました。
- 対して女性は、台風などの災害や人命にかかわる大きな事件、事故の報道があったとき、新聞への接触が高まりました。

# 若者は同世代が活躍のニュースに高い関心

## 衆院選投票開票日 (2017.10.22)



| 年齢    | 日付 | 10/22 | 10/23 |
|-------|----|-------|-------|
| 18~29 |    | 111.8 | 114.9 |
| 30~39 |    | 105.8 | 108.5 |
| 40~49 |    | 101.2 | 99.0  |
| 50~59 |    | 101.6 | 108.8 |
| 60~69 |    | 105.4 | 112.0 |

## 羽生結弦が 連続金メダル 藤井聡太が 羽生善治竜王 に勝利 (2018.2.18)



| 年齢    | 日付 | 2/17  | 2/18  | 2/19  |
|-------|----|-------|-------|-------|
| 18~29 |    | 106.1 | 108.7 | 107.0 |
| 30~39 |    | 101.8 | 102.3 | 103.9 |
| 40~49 |    | 99.3  | 95.7  | 101.1 |
| 50~59 |    | 97.5  | 96.4  | 97.7  |
| 60~69 |    | 102.2 | 101.0 | 103.2 |

## 紀平梨花 グランプリ ファイナルで 優勝 (2018.12.9)

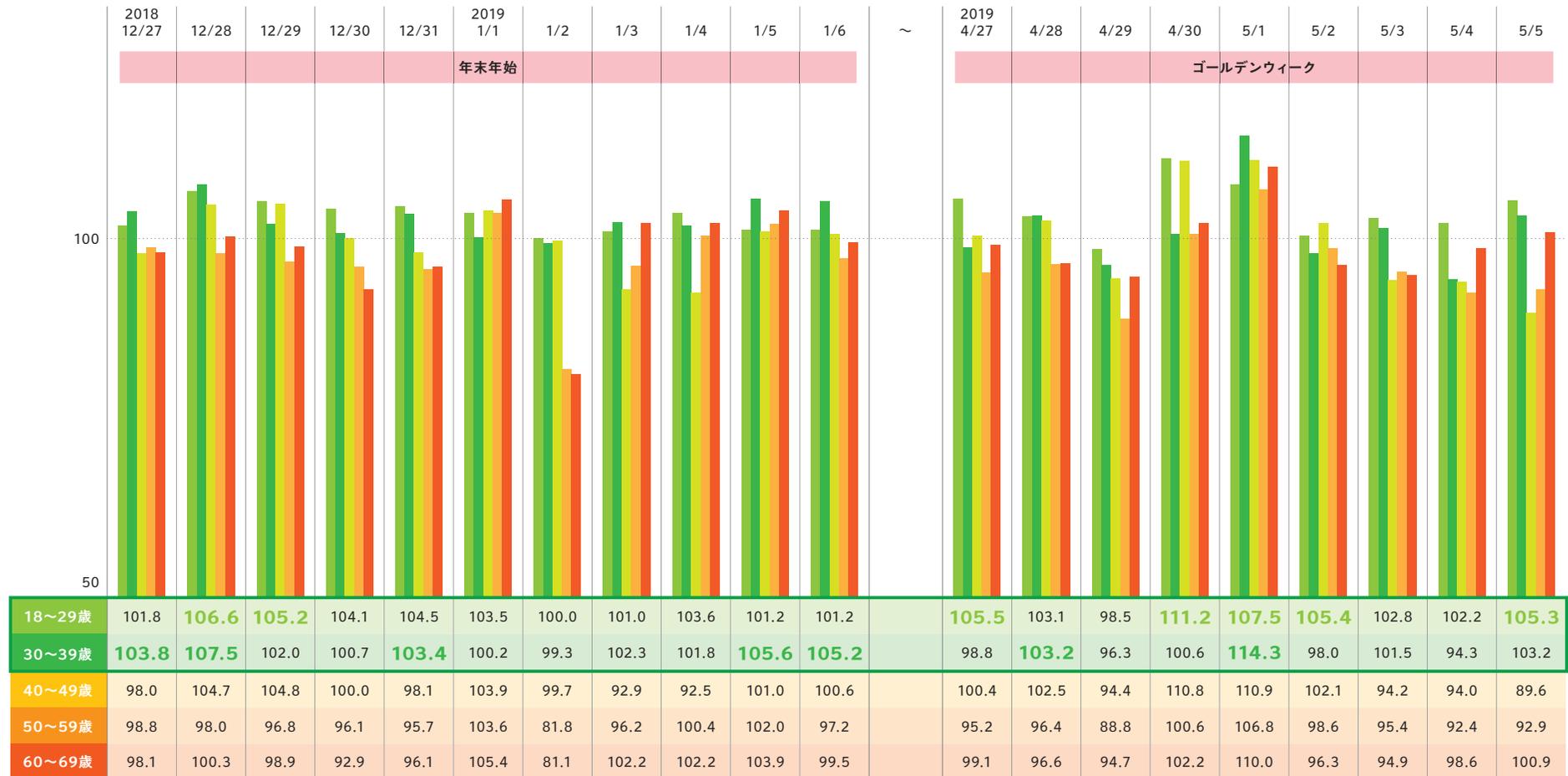


| 年齢    | 日付 | 12/9  |
|-------|----|-------|
| 18~29 |    | 109.0 |
| 30~39 |    | 106.5 |
| 40~49 |    | 99.8  |
| 50~59 |    | 95.5  |
| 60~69 |    | 103.9 |

### 傾向

- 10~20代の若い世代は、休日に新聞への接触が高まります。
- これらの若い世代は、フィギュアスケートの紀平梨花選手や将棋の藤井聡太七段など、同世代が活躍する報道があったときにも接触が高まりました。
- 2017年10月の衆議院選挙の投票開票日には、18~29歳の若い世代で特に新聞への接触が高まりました。若者の低投票率が問題となっていますが、少なくとも新聞に触れている若い世代は、政治に高い関心を持っているようです。

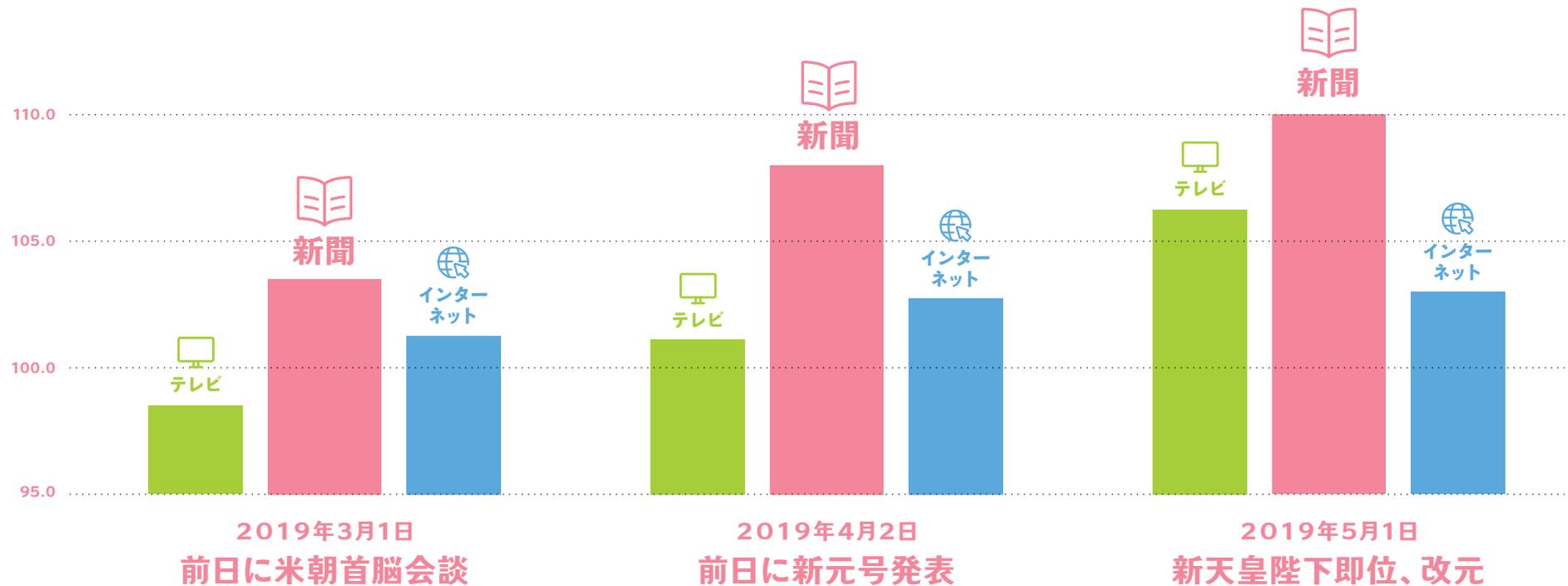
# 若者層も休日はゆっくりと新聞を



## 傾向

- 土曜日、日曜日、祝日などの休日は、新聞への接触が高まります。
- 年末年始やゴールデンウィークといった大型連休には、30代など普段仕事で忙しい世代の新聞接触が高くなります。

# 大きなニュースの詳細を新聞で確認



## 傾向

- 多くの方がテレビやネットの速報でニュースを知り、翌日の新聞で詳細を確認しています。特に、過去の経緯や背景などを知りたいニュースがあったとき、接触はいつも高まります。
- 平成から令和への改元に関わるニュースがあった2019年4月1日や30日、5月1日には、「紙だから記念に保存したい」といった理由で新聞に接触する人が多くいました。
- 2018年の冬季オリンピックや衆議院選挙、参議院選挙といった大きな出来事があったときは、期間中の新聞の平均接触スコアがインターネットを上回ることがあります。
- 年末年始やゴールデンウィークなどの大型連休には、インターネットへの接触が低調になります。